

県立図書館だより

就任にあたって

秋田県立図書館長 加藤 順三

このたび、秋田県立図書館長を命ぜられました。明治32年創立という歴史と伝統のある本館は、その時代の先進的な取り組みと実績により、全国的に高い評価を得て参りました。そうした多くの困難を乗り越えてこられた方々の業績を思いますとき、その職責の重大さに身の引き締まる思いが致します。県民の皆様のご鞭撻、ご助力のもと、誠心誠意努力する決意ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

県立図書館は、県民の「教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする」施設です。「読みたい、知りたい」という県民の皆様のご要望に応じて活動し、サービスを提供するところです。私たち職員一同、図書館奉仕の精神に徹して最善を尽くすとともに、県民が等しくサービスを受けられるよう市町村立図書館等のご協力を得ながら、皆様のご要望を適えていきたいと思っています。また、財政の厳しい折りですが、本県にふさわしい「図書館らしい図書館」の一層の整備・充実を図り、県民の知的センター、県民に親しまれる図書館としての役割を十全に果たして参りたいと思っております。重ねてよろしくお願ひ申し上げます。

今月の主催事業のお知らせ

— 今月県立図書館で開催される行事を紹介します —

第2回県立図書館おはなし会

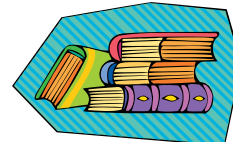
3階多目的ホール

期日：5月21日(土) 10:30~11:30 担当：アリボの会

申し込み・問い合わせ：子ども読書支援センター(県立図書館内)、当日参加申込可

TEL 018-866-0266 FAX 018-866-6200

(火・水・木・金 13:00~17:00、土 10:00~17:00)



「広報レファレンス」を発行しました

— レファレンスサービスをご利用ください —

さまざまな情報を求めて来館される利用者の皆様へ図書館職員が、ふさわしい資料を探すお手伝いをするのがレファレンスサービスです。その一端を知っていただくために「広報レファレンス」PR版を4月から発行いたしました。4月号の内容については、新聞に見るレファレンス事例として2例紹介しております。

1. 「猿倉人形芝居」について 平成17年3月9日発行秋田魁新報朝刊に掲載された「猿倉人形芝居創始者ら顕彰—モニュメントが完成」の記事に関するレファレンス
2. 「標準語村と呼ばれた遠藤熊吉」について 平成17年3月9日発行秋田魁新報朝刊に掲載された「旧西成瀬小の標準語教育研究者が再評価へ調査」の記事に関するレファレンス

1~2の例題を<問い>、<答>、<関連資料>で掲載しております。エントランスホール、閲覧室カウンターに置いてありますのでご自由にお取りください。

今月の県立図書館テーマ展示の紹介

— 毎月テーマを決めて本の紹介をしています —

平成17年度 第1回展示 歩きはじめた道の先に本がある

4月23日からの『こどもの読書週間』に関連して、児童・生徒向けの読み物や教養本等を紹介・貸出します。

期間：4月12日(火)~5月14日(土) 場所：2階閲覧室

平成17年度 第2回展示 地球を守る第一歩 ~やさしい生活、始めませんか?~

6月の環境月間や現在開催中の愛・地球博にあわせて、自然の叡智と循環型社会をめざしているテーマに関連する資料を展示・貸出します。

期間：5月16日(月)~6月12日(日) 場所：2階閲覧室

県立図書館司書がお勧めする一冊

— 県立図書館の司書2人が毎回お勧めの本を紹介しませう —

書名 『だから、君に、贈る。』 佐野真一著 平凡社 2003

〔推薦者 芳賀 奈央子〕

ノンフィクションライターの佐野真一さんが、NHKテレビ「課外授業ようこそ先輩」に出演した体験を軸に書かれた本です。学校近くの工場街を歩いて、初めは「小さな工場」「臭いにおい」としか感想をもてなかった子供たちが、佐野さんの、「鳥の目」と「虫の目」を持って。そのとき“世界”を見る目は変わる」というアドバイスにより、各自取材を実行し、生き生きとした作文を書くようになった過程が描かれています。

現代はインターネットなどで、自分の知りたい情報がピンポイントで手に入る世の中ですが、本当に自分の血肉となるには、歩いて、見て、聞いてみることも必要だよというメッセージが込められています。



書名 『古書修復の愉しみ』 アニー・トレメル・ウィルコックス著 市川恵理訳

白水社 2004

〔推薦者 山内 晴絵〕

インターネットが普及し、書店や図書館に行っても現物に触れなくても、事情さえ許せば世界中の本や情報を手に入れることが可能な時代になった。ただ時には本の海に埋もれて、その独特な香りをかぎながら、それらの本がどのような人々の手を渡ってきたのかということに思いをめぐらせることもまた楽しい。

これには本を残していく立場の人である「書籍修復家」ウィリアム・アンソニーに弟子入りした女性が、様々な本と出会い、様々な経験をしながら一人前の職人として成長していく姿が描かれている。普段私たちは本の形状により、その中身に価値を見いだしていることが多いが、その中身とともにオリジナルの装丁・形状を大事にしながら後世に残していくために、修復家がどのような作業をどのような考えに基づいて行っているのかがこの本を通じてよくわかる。

このような技術を持ち合わせていない我々でも、せめて本が自分の手元にある間は、自分がよければいいというような考えを捨て、大事に扱ってほしいと思うような一冊である。

けいじばん

・今年度は5月の特別整理期間はありません。

例年5月と11月に特別整理期間を設けてそれぞれ約1週間の休館をしておりましたが、今年度は5月はありませんのでご注意ください。今年度当館では10月にコンピュータシステムの更新を行います。それに伴いまして、10月に約2週間（10月1日から10月16日まで）の特別整理期間を設けて更新作業を行います。その際には利用者の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。休館日については、「平成17年度秋田県立図書館カレンダー」をご利用ください。カウンター、閲覧室に置いてありますので自由にお持ちください。当館ホームページにも掲載しております。

5月の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
△	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■は休館日です。△は館内整理日です。（月の初日、1月4日が館内整理日です。ご利用は2階閲覧室の図書の閲覧のみとなり、貸出等はありません）

開館時間

平日	午前10時～午後8時（4月～10月） 午前10時～午後7時（11月～3月）
土日・祝日・館内整理日	午前10時～午後5時

休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。